



2022年1月16日

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

女子委員会

第42回全日本女子アイスホッケー選手権大会 Cグループ関東ブロック予選会 大会要項

- 1 大会名称 第42回全日本女子アイスホッケー選手権大会 Cグループ
関東ブロック予選会
- 2 主催 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
- 3 期間 2023年1月21日(土)～1月28日(土)
- 4 会場 **ダイードリンクコアアイスアリーナ**
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25 Tel: 042-467-7171
- 5 大会事務局 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25
Tel: 042-467-8282 Fax: 042-468-2131 E-mail: tihf@tihf.gr.jp
- 6 参加チーム 日本体育大学、昭和大学ブルーウィンズ、
H.C.栃木日光アイスバックスレディース
- 7 参加資格 1) 選手およびスタッフは、本予選会参加都県連盟所属の女子チームへ
登録し、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録している。
2) 高校生以下の選手については各チームで保護者の承諾を得る。
- 8 組合せ 別紙参照
- 9 選手登録 大会参加申込み期限[2022年12月31日(土)]までに登録が完了していること。
- 10 代表者会議 実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
- 11 参加申込み
 - 1) **2022年12月31日(土)までに**
指定の参加申込書(Excel)を女子委員会および事務局宛に E-mail にて送付する。
* Excel ファイル、押印省略可。**PDF に変換しないこと。**
 - 2) **2023年1月16日(月)までに**
(1)上記1)の参加申込書を印刷、押印(所属連盟の押印含む)し、事務局宛に郵送する。
以下(2)(3)を女子委員会および事務局宛に E-mail にて送付する。
(2)参加同意書(代表者自筆署名、PDF)
(3)スポーツ傷害保険加入証書の写し(PDF、**加入者明細の添付必須。**)

12 大会費 **122,000 円**

内訳)

大会参加費	30,000 円
試合費	92,000 円
計	122,000 円

13 振込み期限 **2023 年 1 月 16 日(月)**

14 振込先

銀行名: 東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号 016)

口座名: 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
ザイ)トウキョウトアイスホッケーレンメイ

口座番号: 0104277

預金種目: 普通預金

※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

15 試合映像撮影・配信

- 本大会では試合の映像撮影および映像配信を行うことがある。本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟(以下 JIHF)に帰属することとし、公衆送信権を公益財団法人東京都アイスホッケー連盟(以下 TIHF)に許諾することがある。
- 本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は本大会参加中の肖像の管理を JIHF および TIHF に委ねることを、本大会参加をもって承諾したこととする。

16 その他

- 全試合無観客とする。**チーム関係者の来場については、別途定める(人数制限等あり)。**
- 新型コロナウイルス感染症の影響による日程変更・対戦方式の変更・特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

17 問い合わせ先・連絡先

公財)東京都アイスホッケー連盟女子委員会

(電話番号、E-mail アドレスは別途お知らせします)

競技要項

18 競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分(ストップタイム)×3ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)
- ホーム・ビジター制度を適用する。仮ホームチーム(対戦表の左側)は、本部席から向かって左側のベンチに入る。
試合前のパケットスにより、ホームチーム、ビジターチームを決定する。
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
 - 1) 差が縮まった場合でも継続する。
 - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - c) レフェリーの指示があったときに時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - d) タイムアウト時、時計を止める。タイムアウト終了後のフェイスオフでスタートさせる。
 - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト(30 秒)を取ることができる。

19 順位決定方法

ポイント制とする。ポイントは以下の通りとする。

勝ち	引き分け	負け
3	1	0

2 チーム以上のポイント数が同数の場合は、以下の順に順位を決定する。

- 1) 当該チーム間の試合で得たポイント数が多いチームを上位とする。
 - 2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
 - 3) 当該チーム間の試合の総得点が高いチームを上位とする(得点差)。
 - 4) 全試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
 - 5) 全試合の総得点数が高いチームを上位とする(得点差)。
 - 6) 第 41 回全日本女子アイスホッケー選手権大会 C グループ関東ブロック予選会の上位チームを上位とする。
- チームが試合を棄権した時点で、当該チームは関東ブロック代表選考の対象から除外する。その他のチーム間の対戦成績により、代表を決定する。

20 競技規則

- 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第 21 項)を除いて、原則として国際競技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。

21 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは速やかに、理由とともに書面(E-mail)にて届出なければならない。試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、代表選考の対象から除外する。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、指定のフォームを用い、チームのリンク入場時に提出する。
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。
当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発覚次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
- 5) 試合実施に必要な最低人数は6名(ゴールキーパー1名とスケーター5名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする(棄権については21-1項を参照)。
両チームが最低人数に満たない場合は、両チームとも-15点とし、両チームが不戦敗とする。
- 6) ベンチ入りは選手・スタッフ含めて最大25名までとする。ゴールキーパーは2名以内、スタッフは6名以内(最低1名)とする。
- 7) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。
ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指1本分のみとする。
- 10) ゴールキーパーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームは完全にパンツの外側に着用し、タイダウンストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。(本大会については、タイダウンストラップ適用を猶予するが、パンツの中にユニフォームが入っていたら、都度、出すよう徹底しなければならない)。
- 12) ユニフォームの背中の名プレートや背番号が見えなくなるほど髪の毛が長いプレーヤーは、ポニーテールにするか、ヘルメットの中に髪の毛を入れなければならない。
- 13) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、下記の手順を取る。
 - 試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを

指示し、チームに警告を与える。

- 試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアピールは受け付けない。

- 14) 「お守り」をつける場合は、パンツ等の中に縫い付けて着用する。防具等の外につけることはできない。
- 15) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。
- 16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。
- 17) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー 1 名、ラインズパーソン 2 名を派遣する。
- 18) ビデオサポートシステムを採用する(ゴール裏のカメラ 1 台)。ただし、コーチチャレンジは採用しない。チームからのアピールで確認することはない。

<コロナウイルス対応>

- 18) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
- 19) 試合時の握手は禁止する(選手、スタッフ、レフェリー、競技役員)。
- 20) ベンチ内において、スタッフは、飛沫飛散防止のための**不織布マスクを正しく着用する**。
- 21) ドリンクボトル、タオルは共有しない。
- 22) ペナルティボックス内の選手は、相手チームの得点時、自らドアを開けて出ていく。
- 23) 試合中、ベンチ内の選手は、交代選手以外は座っている。
- 24) 試合中断時、バックに触れない。ゴールテンダーはキャッチしたらリンク上に置く。
- 25) インターミッション中はベンチ内にて待機し、氷上でのミーティング、水分補給等は禁止とする。

22 罰則規定

- 1) 申込み締切り後、棄権を申し出るチームは速やかに、その理由をそえて通知すると同時に不参加料 122,000 円を納金する。(参加費の振込みが完了している場合は、参加費を不参加料とみなす。)
- 2) 事前の棄権通知を怠り、かつ、不参加料を納金しないチームは、今後、関東ブロック予選会への参加を認めない。期限については関東地区連絡協議会にて協議の上、決定する。

23 保険の加入

- 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。(保険証書の PDF を提出する。大会要項 11 項を参照)。
- 選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

24 試合中の負傷・傷害

- 試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。
- 選手の負傷について、チームは「[傷病報告書](#)」にて公財)東京都アイスホッケー連盟に届ける。

25 コロナウイルス対応の特別ルール

- 1) 選手、スタッフは、大会7日前より大会7日後まで、体温、体調および簡単な外出メモを記録する(フォームは自由。アプリ利用可)。提出依頼があった際に、提出できるようにしておく。
- 2) チーム内に陽性者、および濃厚接触者が発生した場合は、速やかにその旨と状況および経過をチーム代表者より、女子委員会に連絡し、医療機関、保健所、自治体等の指示に従い活動を自粛する。本大会への参加は、当連盟の医科学委員会にて協議し、決定する。
- 3) 施設関連：
 - 入退場については、指定された時間に、指定された出入り口を使用する。
 - 施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受ける。
 - 施設敷地内において、氷上・ベンチ内以外は常に不織布マスクを着用すること(屋外・雨天時の室内アップにおいても着用する。)
 - 控室使用の可否、着替え・ミーティングに使用するリンクサイドエリアは、当日指定する。指定エリア(着替え場所・トイレ・アップ場所)以外への立ち入り禁止。
 - 施設内において、選手の水分補給以外は基本的に飲食禁止。
 - ゴミはチームで必ず持ち帰る。試合後、ベンチ内や着替えエリアにゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。
施設内のゴミ箱やリサイクルボックスが使用できる場合は、正しく分別して入れる。

*** 新型コロナ対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。**